

早稲田商学第 411・412 合併号
2 0 0 7 年 6 月

消 息

加古宜士先生を偲んで

加古宜士先生は、胆管がんのために平成18年12月6日にご逝去されました。先生がその設立にご尽力された会計専門職大学院が順調に歩き始めたところでのご逝去であり、さぞご無念であろうかと思えます。先生のご逝去は、私共、教職員にとりましてこの上ない悲しみであり、計り知れない損失であります。商学学術院の教職員一同を代表し、謹んで哀悼の意を捧げます。

加古先生は、昭和12年6月30日、愛知県でお生まれになり、県立西尾高等学校を経て、早稲田大学第一政治経済学部に入学されました。昭和35年、同学部卒業後、早稲田大学大学院商学研究科に進まれ、佐藤孝一教授と新井清光教授のご指導の下で、会計学の研究生活に入られました。

昭和41年4月に博士課程を終えられると同時に、流通経済大学経済学部助手になられ、以後、専任講師、助教授を経て、経済学部教授へと昇進されました。昭和57年には「物価変動会計論の研究」と題する博士論文を提出され、早稲田大学から商学博士の学位を授与されました。

平成元年4月には、筑波大学に社会工学系教授として迎えられ、経営システム科学専攻長、企業科学専攻長などを歴任され、社会人教育の草分けとして同大学の大学院で研究指導を行い、多くの研究者を輩出されました。

早稲田大学では、長年にわたり社会科学部の講師をしておられましたが、平成9年4月に商学部専任の教授として迎えられました。商学部では、一年生の「会計学」と二年生の「財務会計論」などをご担当になり、大変分かりやすく会計学の本質を教えて下さいました。

学内では、平成12年に産業経営研究所所長、平成17年には大学院会計研究科長を歴任され、とくに大学院会計研究科の設立に当たっては、先生は開設準備委員会の委員長として学内外を東奔西走する毎日を過ごされました。そして、会計研究科の初代研究科長

として、会計研究科の確固たる基礎を築き上げられました。

先生の悠揚とした風格と慈愛に満ちたお話しぶりは、周囲の人々を惹きつける魅力が溢れ、そのお人柄を慕って数多くの学生や同僚が集い、常に先生は笑顔に包まれた研究と教育の日々を過ごされていました。

学内的なご活躍のみならず、先生は学会・学外でも大変なご功績をお遺しになりました。学会では、国際会計研究学会会長、日本会計研究学会理事などを歴任され、わが国をリードする会計学者として活躍されました。先生の数多くあるご業績の中でも、とりわけ名著『物価変動会計論』は、わが国の会計学に理論的な基礎を与えたものとして、その後の学界の動向に大きな影響を及ぼしました。

また先生は、わが国経済の重要な基本制度である企業会計制度の発展を支えてこられました。金融庁の企業会計審議会では、長年にわたり委員をつとめられ、平成15年からは会長として、文字通り、わが国の企業会計制度の責任者として、会計制度・監査制度の整備充実にご尽力なさいました。その他にも、総務省では数次にわたる公益法人会計基準の改正に努力され、文部科学省、会計大学院協会、日本道路公団、財務会計基準機構などにおいても、数々の要職を歴任されました。

のちにうかがったことではありますが、加古先生は、このような輝かしいご活躍の陰で長い間病と闘ってこられました。平成9年には、当時病名もなかった、自己免疫性膵炎で入院され、膵臓の切除手術を受けられました。その後も胆管、肝臓にがんが発生しましたが、その度にそれを克服されて、教壇に復帰されておられました。しかしながら、去る8月に横隔膜、肺などに癌が転移し、ご家族の手厚い看護も空しく、幽冥へと旅立たれてしまいました。

聞くとおところによりますと、加古先生から親しく教えを受けた学部、大学院の学生は、三大学を合わせて、千人近くになるそうでございます。この上は、先生が遺された偉大な業績を継承するとともに、先生が心から愛された早稲田大学の発展のために、教職員一同尽力することをここにお誓い申し上げます。

加古先生、どうぞ安らかにお眠りください。

加古宜士先生のご略歴・業績

1 学歴・教歴

- 昭和35年3月 早稲田大学第一政治経済学部卒業
- 昭和38年3月 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了
- 昭和41年3月 早稲田大学大学院商学研究科博士課程退学
- 昭和41年4月 流通経済大学経済学部助手
- 昭和49年4月 流通経済大学経済学部教授
- 昭和57年2月 商学博士（早稲田大学）の学位授与
- 平成元年4月 筑波大学社会工学系教授
- 平成9年4月 早稲田大学商学部教授
- 平成12年10月 早稲田大学産業経営研究所所長
- 平成17年4月 早稲田大学商学学術院教授, 早稲田大学商学学術院副学術院長,
早稲田大学大学院会計研究科研究科長

2 学界・公的關係等の略歴

- 昭和63年1月 大蔵省・企業会計審議会委員
- 平成12年1月 大蔵省（2001年1月6日から内閣府金融庁）・公認会計士審査会委員
- 平成12年9月 日本会計研究学会理事
- 平成13年1月 金融庁・金融審議会委員
- 平成14年4月 総務省・公益法人会計基準検討委員会委員（座長）
- 平成15年1月 金融庁・企業会計審議会会長
- 平成17年4月 会計大学院協会理事長, 財団法人財務会計基準機構評議員
- 平成17年8月 国際会計研究学会会長

3 主な著作

- 昭和43年6月 利益と資金の会計—アカウンティング・フロー—（共訳）
東洋経済新報社
- 昭和56年12月 物価変動会計論
中央経済社

平成6年9月	財務会計概論（平成10年・第2版, 平成12年・第3版, 平成15年・第4版, 平成17年・第5版, 平成18年・第6版）	中央経済社
平成6年12月	リース取引会計基準詳解（共編）	中央経済社
平成15年1月	高校簿記（共編修）	実教出版
平成16年2月	高校会計（共編修）	実教出版
平成16年2月	財務会計の理論と応用（共監訳）	中央経済社
平成17年2月	会計実務（共編修）	実教出版
平成17年12月	公益法人会計基準の解説（単編）	公益法人協会
（その他編著・共著・論文多数）		

早稲田大学商学学術院長 横 田 信 武